

企業紹介

新鮮な旬の野菜と果物を リアルタイムにお届けする

大印合同青果株式会社

代表取締役 小野 久衛
〒950-0113 新潟市江南区西山830番地7
TEL 025-278-4800 FAX 025-278-4480
<http://www.jck.net/sales/godo/>

業 種：卸売業
資 本 金：1,000万円
事業内容：青果仲卸売業

新潟市の中央卸売市場内に本社を置き、青果物の卸売を行っている大印合同青果(株)。旬の野菜や果物をお客様のニーズに合わせてリアルタイムでお届けするなど高品質なサービスを提供している。最近では、胎内市などと協力し、国産甘草の苗の培養を通して地域農業活性化にも取り組んでいる。

全国ネットワークで、旬な野菜と果物をお届けする

同社は、昭和39年に青果物仲卸売業として創業。その後、胎内市、燕市、長岡市などの卸売市場に営業所を開設し、業容を拡大。現在では、県内最大規模の青果物仲卸売業者として、大手スーパーや飲食店向けに青果物全般を供給している。

同社は、お客様からの“旬で美味しい野菜、果物がほしい”“珍しい食材を使いたい”などの要望に応えるため、県内の生産者はもちろん、全国の卸売業者とネットワークを構築。北海道から九州まで、各地の新鮮な旬の野菜や果物をお客様にタイムリーにお届けし、高い信頼を得ている。



▲新潟市の中央卸売市場内にある本社

顧客ニーズに対応した細やかな配送サービスを提供

同社の強みは、顧客ニーズに応じた細やかな配送サービスを実現していること。積載効率や配送ルートなどを工夫し、常に配送・流通能力の向上を図っている。

また、365日食材をお届けする飲食店向けには、トラック以外にワゴン車なども使用し、それぞれの店舗に合わせて必要な食材を必要な時間までに納品するなど細やかに対応。さらに、新潟市内だけでなく、三条市や長岡市などの本社から離れた地域への配送も行なうなど、配送サービスの充実も図っている。



▲お客様の必要なものを必要な時に配送する

国産甘草の苗の培養で地域農業活性化を推進

同社は、平成25年から胎内市などと協力して薬用植物である甘草の苗の培養に本格的に取り組んでいる。

この取り組みは、国産甘草の安定供給や胎内市における砂丘地での休耕地利用の作物としての特産品化などを目指し、平成23年に胎内市と国内製薬会社が結んだ協定に基づいて進められている。

同社は、主に胎内フラワーパーク内の植物培養施設での苗の培養を行っており、今後も苗の培養増殖を通して地域農業活性化に向けた取り組みを推進していく。



▲甘草の苗の培養に取り組んでいる